

<宣言>

私たちは、職員一人ひとりがやりがいを持って働き続けられる魅力ある職場づくりの取組を以下のとおり行い、それを積極的に公表することを宣言します。

取組期間

2026 年 7 月 1 日 ～ 2026 年 9 月 30 日

宣言達成のための取組

(大項目2項目以上から、小項目1項目以上の取組を行うこと。)

大項目	小項目	具体的取組		
		自己評価	現在の状況 ※「今後取り組む項目」及び「現在の取組を公表したい項目」を具体的に記載	将来の目標
情報共有・コミュニケーション	理念、方針、ビジョンを職員に周知・徹底している	△	石原の里 関連事業所共通の理念を各自のネームプレートの裏に印刷しており、いつでも確認できるようにしている。	→
	年度事業計画と目標を職員に明確に示している	△	年度末・年始に施設目標の振り返りと新年度の施設目標を公表し全体で共有している。館内に掲示をしており、その年度の事業において必要な計画は全体で共通認識している。	→
	記録・報告、ミーティング等で、利用者等に関する情報の共有を徹底している	○	担当者会議やモニタリングを活用し関連事業所間で情報共有が図れる仕組みづくりをしている。	→
	自法人・事業所を取り巻く環境や今後の課題について話し合う機会を設けている	△	R6年度より事業所毎に体制整備に入り、取り組みの成果に関すること具体的にも職員へ情報提供することとした。定期的なミーティングなどで職員同士の意見交流の機会を増やし問題解決がスムーズに行えるようになった。	→
	現場からのアイデアや意見・提案を吸い上げる機会を設けている	△	各委員会活動や意見箱設置・ミーティングなどで以前より活発な意見交換が図れるようになった。委員会については3・6・9・12月に定例委員会を開催。必要時に臨時委員会の招集を行い開催している。	→
	その他(上記以外・自由記載)	-		→

大項目	小項目	具体的取組			
		自己評価	現在の状況 ※「今後取り組む項目」及び「現在の取組を公表したい項目」を具体的に記載		将来の目標
労務管理	業務の見直しやICTの導入等により、勤務時間や仕事内容で過重な負担を強いないようにしている			→	
	職員が子育てや介護、病気の治療などをしながらでも仕事を続けられる支援を行っている	○	育児・介護休業制度/子の看病休暇・介護休暇/時間外労働の制限/深夜業の制限/時短勤務等。	→	
	パワハラ・セクハラの予防・解決に向けた取り組みを行っている			→	
	相談窓口を設置するなどして職員の不満・不安を聞く機会を設けている			→	
	職員一人ひとりの心身の健康に配慮する取り組みを行っている			→	
	その他(上記以外・自由記載)	-		→	
評価・報酬	一人ひとりの果たすべき役割や目標について話し合いを行っている			→	
	評価基準を示し、仕事ぶりや能力について面談によるフィードバックを行っている			→	
	仕事ぶりや能力などの評価を踏まえ、何らかの処遇改善につなげている			→	
	人事制度を実態に合った制度とするため、適宜検討や見直しを行いながら運用している			→	
	賃金の決め方・上げ方をルール化し、明確に示している			→	
	その他(上記以外・自由記載)	-		→	

大項目	小項目	具体的取組			
		自己評価	現在の状況 ※「今後取り組む項目」及び「現在の取組を公表したい項目」を具体的に記載		将来の目標
人材採用・育成	自法人・事業所の現状分析をもとに、必要な人材の募集・採用を行っている			→	
	魅力ある職場づくりを行い、求職者に適切な方法で発信している			→	
	研修体制の整備や自己啓発支援などを通じ、職員のスキルアップを図っている	○	法定研修などは年間計画を立て、業務時間内に受講が来ている。その他、外部講師を招いて感染予防・BLS研修・認知症ケアなど臨時研修なども追加開催している。	→	
	新人・リーダー・管理職などの階層に応じた教育を体系的に行っている	△	各階層に合わせた研修の開催・外部研修の参加が思うように出来ていない為、今後の課題となっている。	→	R8年度 年始に全職員に対し【学び】についての目標や受講したいテーマ・取得したい資格などを明文化してもらい一人一人が計画に沿ったキャリア段階別の学びに取り組めるよう研修紹介や参加の仕組みづくりを行う。
	将来のキャリア形成について、支援やアドバイスをやっている			→	
	その他(上記以外・自由記載)	-		→	
職場環境・組織風土	多様化・複雑化する介護ニーズにチームで対応している	△	各事業所がその特徴や強みを生かして連携しながら個々の介護ニーズに合わせたサービス提供を行っている。	→	
	有給休暇の取得促進に向けた体制を明確化し、取得しやすい環境を整備している	○	全体的には有給休暇は取得しやすい環境にあるが取得率に個人差がある為、全体が平均的に取得できることが課題。	→	
	高齢者をはじめ多様な人材が活躍できる職場を整備している			→	
	利用者や利用者家族からのクレームや過度な要求には組織で対応している	○	クレームや過度の要求においては出来る限り役職者を中心に対策を練り、現場職員に心理的不安が無いよう取り組んでいる。	→	
	主体性を尊重し、仕事を任せ、それを支援する組織風土がある	△	職員が個々に良いアイデアを持っていても遠慮して声に出して表現する機会が少ない。意見を拾い・形にするため施設向上(生産性向上)委員会を設立する。	→	R8年度 施設向上(生産性向上)委員会設立 現場職員の声を形にできるような仕組みを作る。
	その他(上記以外・自由記載)	-		→	
その他(上記以外・自由記載)		-		→	

【自己評価】「CHECK&ACTION25」による自己チェックの点数に基づくもの